

インターナショナルセーフスクールの取組充実 仰高小学校、池袋本町小学校が3度目の認証を取得！

「インターナショナルセーフスクール（ISS）」とは

「インターナショナルセーフスクール」とは、「体のけが」、「心のけが」及びその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める国際認証です。豊島区では体と心のけがや校内外の事故が少ない安全・安心な学校を目指して、子供、教職員、保護者、地域が一体となり、インターナショナルセーフスクール活動に取り組み、令和3年度には区内8中学校ブロックに1校以上のISS認証取得校が誕生しました。

令和5年3月に「インターナショナルセーフスクール認証校の取組を生かした安全・安心な学校づくりガイドライン」を発行し、各中学校ブロックのISS認証取得校を中心に、ガイドラインを参考にしながら全小・中学校で取組を進めています。

12月に現地審査会、2月に合同認証式を開催

令和5年12月7日(木)に仰高小学校と池袋本町小学校の現地審査会が行われました。両校とも児童の主体的な取組や保護者・地域との協働的な取組、課題を発見し解決しようとする高い意識と行動力を評価していただき、認証内定をいただきました。令和6年2月13日(火)には、としま区民センター多目的ホールで2校合同の認証式を開催し、正式に再認証を取得しました。



▲ 現地審査会(オンライン併用)の様子

▲ 合同認証式の様子(記念撮影、児童による発表)

(上段:仰高小学校、下段:池袋本町小学校)

再認証2校の活動の特徴

仰高小学校

安全・安心な学校づくりの第一歩は校内の環境を整えることと考え、玄関や廊下、教室などの環境の整理整頓に力を入れて取り組んでいます。校内環境を整えることで、落ち着いた心で生活することができています。また、災害時の判断力や安全確保の行動力を培うために、登下校中などの様々な状況を想定した訓練を継続して行っています。

池袋本町小学校

学区域には東武東上線・JR 埼京線の踏切が6か所あり、全校児童の40%近くは東武東上線を越えたマンション等から通っています。踏切を通らず、急こう配で狭い歩道橋を渡って登校してきます。また、令和5年7月1日現在の児童数が753名と区内1の大規模校でもあり、インターナショナルセーフスクールの取組継続により、児童の危険回避能力の育成や、地域・保護者と一体となった安全・安心な学校づくりを充実させています。